

分校だより

二期の号

地域と共に歩む
大曲農業高等学校太田分校
(TEL) 0187 (88) 1311
(FAX) 0187 (86) 9035

生徒一人一人が自ら考え、行動・表した二期

猛暑の中、今年度の二期がスタート。間もなく冬休みを迎えるにあたり、「暑い、暑い」と挨拶を交わしていたのがつい先日の事のように思えます。最近では新型コロナウイルス感染症のニュースも下火となり、もっぱらインフルエンザや溶連菌等のニュースを耳にするようになりました。さて、二期も様々な行事が行われました。いつもは二期のスタートで球技大会を行っていましたが、生徒達の健康面を考慮して秋に変更して行いました。さらに、猛暑は農場の農作物の生育にも多大な影響を及ぼし、多くの作物が雨不足と暑すぎるが故に生育不良となってしまう。このように厳しい日常生活が続く中、生徒達が自ら考え、行動・実践してくれたおかげで、大きな事故等もなく二期を終えることができたのは大変うれしく思います。

今年度全校生徒が確かな成長を目指して頑張ってくれています。現時点では降雪量も少なく過ぎやすい冬のスタートですが、今後降雪量も増え、生活面で苦労が多くなると思います。十分な注意を払いながら令和5年、有終の美を飾れますように願っております。

夏休み中の出来事

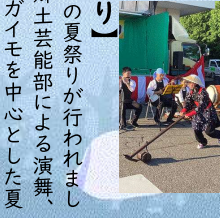
①2年生インターンシップ

●7月25日(火)～27日(木)にかけて、2年生、インターンシップ(職場体験活動)が行われました。卒業後の自分の進路を考えた。大仙・仙北市内の企業や事業所を中心に各自仕事を体験してきました。三日間で各事業所の仕事をすべて体験することはできませんが、仕事の厳しさ、やりがいや楽しさを実感してきました。



②太田の夏まつり

●8月5日(土)、太田の夏祭りが行われました。太田分校からは郷土芸能部による演舞、Gクラブからはジャガイモを中心とした夏野菜販売を行いました。天気も良く、夕方になっても気温が下がらず、郷土芸能部の部員たちは、暑さを吹き飛ばすほど元気よく汗をかきながらの演舞を披露してくれました。Gクラブも販売開始時は声をかけられず苦戦しましたが、お客さんの来場が増えるに従って販売することができたようでした。

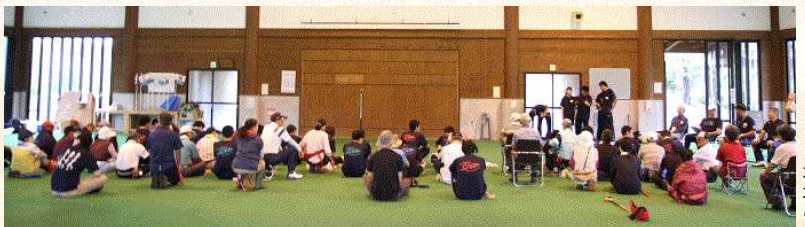


③ボードゲーム・球技大会

●8月21日(月)、全校生徒が2チームに分かれてボードゲームを行いました。今年度は猛暑ということもあり、体育館から教室に会場を変えて実施しました。普段はボードゲームをする機会が少なくなってきたので、物珍しさもあってか、和気あいあいの雰囲気の中にも静かな闘志を見せる生徒も...。今年は猛暑の影響から球技大会を秋に延期しました。夏休みから学校生活へ向けてリズムを変え、良いきっかけとなりました。



●9月6日(水)太田分校恒例のグラウンド・ゴルフ大会が奥羽山荘グラウンド・ゴルフ場で行われました。この大会は生徒たちが地域の方々や世代を超えて交流を深める大切な行事です。今年度23回目となり、太田分校伝統の行事として地域の方々にも認知されてきております。今年度は地域の方々約35名が参加し、全校生徒と職員が地域の方々との交流を深めました。



はじめに、太田分校サポーターズクラブ代表高橋不二太郎様よりご挨拶をいただき、渡辺勉校長、藤原大河生徒会長が歓迎のあいさつを述べました。競技開始前に参加者全員で恒例の記念写真を撮りました。撮影後、各スタートホールに移動して競技開始。競技ではあちらこちらから「ナイスショット」「惜しい」の歓声が聞こえるなど、白熱した楽しい時間を過ごすことができました。表彰式では、ホールインワン賞が授与され、笑顔と元気あふれた第23回太田分校グラウンド・ゴルフ大会を大盛況で終えることができました。



●10月5日(木)、20日に開店する「分校レストラン」のPRのため、3年情報教養コースの生徒4名がFMはなび「ジャンピン」という番組にゲスト出演してきました。とても緊張したようですが、最後は緊張も解けて伝えたいことを話すことができたようでした。

●10月17日(火)、18日(水)の二日間わたって球技大会が行われました。当初は夏休み後に行われる予定でしたが、猛暑の影響で体育館内の気温が危険な状態が続いていたため延期して行われました。暑さはいく分和らいだものの、生徒たちの熱気も相まって、水分をこまめに補給しながら暑さに負けまいと熱戦を繰り広げました。また、二日目にはバスケットボール、最終日にはバレーボールの3年対職員チームのスペシャルマッチがあり、大いに盛り上がりました。



●11月3日(金)の午前中、収穫祭が行われました。式典では農業委員長の戸澤空君が分校農場の一年について、今年は大雨と猛暑に見舞われ、さらに除草してもすぐにはびこる雑草や病害虫に悩まされ、農作物の管理に苦労したことを話してくれました。式典後は、全校生徒と職員が体育館に集まり、分校産のあきたこまちの新米と、ネギや里芋などをふんだんに使った汁物が振る舞われ、味わいました。

●午後から紅葉祭が開催されました。今年も話し合いを重ねてきた結果、生徒たちだけで行うことにしました。まだまだ、コロナウイルス感染症に注意が必要です。さらにインフルエンザも流行ってきています。今年も地域の方々も太田分校の活躍や取り組みをご紹介できなかつたのは残念でしたが、全校生徒が心を一つに頑張りました。

●11月4日(土)、全校民謡発表会が太田文化プラザで行われました。今年も保護者限定公開となりました。限られた練習時間の中で、生徒たちは一生懸命練習し、その成果を披露しました。



●11月12日(日)、横手市の秋田ふるさと村で行われた「秋田県高文連郷土芸能発表会」に郷土芸能部が参加しました。この大会で優勝することが、来年の全国大会への出場が決まる大切な大会でした。部員達は毎日遅くまで練習を積み、大会に向けて頑張ってきました。結果は審査員特別賞を受賞することができました。練習の成果が評価された素晴らしい発表でした。



●9月8日(金)5・6校時、「体験学習ものづくり講座」がありました。毎年この時期、地域の専門家をお迎えし、様々な講座で指導していただいています。今年度は四講座を開講していただきました。二時間という限られた時間の中で、講師の皆様には色々工夫していただき、生徒・職員は普段の授業とは違う貴重な体験をすることができました。

●10月21日(土)、4年ぶりの通常開催となる「秋の総りフェア」が大仙市花火通り商店街と大曲ヒカリオイベント広場で開催されました。郷土芸能部とGクラブも招待を受け、演舞披露、農産物販売で参加してきました。当日はあいにくの雨でしたが、それでも通常の開催とあってたくさんの方々を訪れていました。

●11月20日(月)～23日(木)、三泊四日の日程で、二年生が関西方面の修学旅行に出かけてきました。期間中は天候にも恵まれたようです。京都や奈良では世界遺産を間近に見て感動し、USJではいっぴい楽しい思い出ができたことでしょう。素敵な思い出をたくさん詰め込んで全員無事に帰校しました。



●9月5日(火)、山形大学の佐川馨先生率いる山形大学大学院地域教育文化研究科音楽芸術分野の方々をお迎えして、「山つコンサート」を開催しました。

●10月24日(火)は、中里温泉にて分校レストランが開店しました。今シーズンは一度限りでしたが、情報教養コース三年生4名が考案した定食が大変好評でした。来店された方々の中には毎年楽しみにしている方も多く、レストラン内では「美味し〜い」の声が連呼されていました。分校レストランの開業が地域の方々にも知れ渡ってきていることだと感じております。今年も沢山のお客様に来店頂きました。この度も分校の取組を多くの方々を知ってもらいたいと思います。

●11月1日(日)、金剛寺参拝。
●11月2日(日)、東大寺参拝。
●11月3日(日)、USJ参拝。
●11月4日(日)、清水寺参拝。

